



Disaster prevention Expert News

# 東北地方 防災エキスパートだより

2006.12  
vol.9

発行:平成18年12月28日

東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4454((社)東北建設協会内)

## 平成18年10月の低気圧による大雨の洪水で浸水等の状況把握や堤防の損傷状況把握を行いました

この雨で、馬淵川全域で警戒水位を超える出水となり、水防警報基準地点である櫛引橋水位観測所で7日20時に危険水位を超え、周辺では家屋や田畠の浸水被害が発生しました。

前線を伴った低気圧へ、台風の湿った空気が入り込み急速に発達し、青森・岩手の県境付近では10月6日早朝から雨が降り始め8日朝方まで降り続き、馬淵川流域平均で192mmを記録しました。

そうした中、8日の早朝に青森河川国道事務所から防災エキスパートの出動依頼があり、青森市内在住の葛西さんが出動し、内水氾濫等による家屋や田畠の浸水被害状況及び道路の冠水状況並びに堤防の損傷状況調査を行いました。

青森市内からの出動のため往復247kmを走行し、たった一人で延べ10時間におよぶ活動は本当に大変だったろうと思います。

本当にご苦労様でした！



馬淵川出水状況（10月8日）  
馬淵川、浅水川、坂牛川合流点  
(青森河川国道事務所HPより)



周辺の浸水被害  
(葛西喜美雄氏撮影)

## 北上川下流河川事務所管内で水防技術講習会が行われました

10月29日、北上川下流河川事務所 飯野川出張所管内の北上川左岸で、北上川下流河川事務所、宮城県、流域の自治体及び水防団約460名が参加して水防技術講習会が開催され、防災エキスパートの方2名が水防工法の指導を行いました。



## その他の活動について

- 9月1日、総合防災訓練が行われ、青森河川国道、岩手河川国道、湯沢河川国道、山形河川国道、新庄河川、福島河川国道、郡山国道、磐城国道の各事務所、北上川ダム統管、鳴子ダム、玉川ダム、最上川ダム統管、三春ダムなどに、延べ32名の防災エキスパートの方々が参集し現地調査などを行いました。
- 9月20日、岩手河川国道事務所の職員の方々の水防工法講習会が実施され、防災エキスパートの方2名が参加されて水防工法の指導を行いました。

## 「過去の災害に学ぶ…伝承」と題し、平成18年度 防災講演会が開催されます。

【入場無料：参加申し込みが必要です。（1月9日締め切り）】

日 時 平成19年1月15日（月） 13:30～16:30（開場12:30）  
場 所 仙台市戦災復興記念館（2階・記念ホール） ※駐車場はございません。

### スケジュール

ビデオ上映 「日本に住むための必須!!防災知識（地震・津波編）」 社団法人 土木学会  
講 演① 「両羽地震誌」 山形県議会議員 大内 孝一 氏  
講 演② 「津波の恐怖」—三陸津波の教訓— 地震・津波災害史 山下 文男 氏

申し込み・問い合わせ先 国土交通省 東北地方整備局 防災課 TEL:022-225-2171 FAX:022-224-9410

防災エキスパートの方は、是非ご参加ください！

# 平成18年度 防災エキスパート研修会

今年度も宮城ブロックを皮切りに東北6県での防災エキスパート研修会が開催されました。

今年度は11月28日の山形ブロックが最終会場となりましたが、12月に入ることなく全行程を完了することができ、各研修とも積雪を見ることなく終了することができ、各会場とも多数のエキスパートの方々においでいただき、誠にありがとうございました。

今年度の研修会は、防災対策官から「防災に関する最近の話題」と題して、今年の10月に起きた低気圧による災害についての情報や、「日本海溝・千島海溝周辺型地震について」と題して、中央防災会議で決定された海溝型地震防災対策推進基本計画などに関する講義をいただきました。

また、各ブロック毎に、東北地方整備局の各事務所長等から、様々な災害対策や事例及び事務所の防災体制などについて講義をいただいた外、岩手ブロックにおいては八幡平山系火山砂防の現地見学、宮城ブロックにおいては河川情報センター理事の岡山和生様から「ハリケーン・カトリーナと危機管理」と題して、米国ニューオリンズ市のハリケーンの調査報告に関する講義をいただき、秋田・山形ブロックにおいては、管内各ブロック毎の分科会（意見交換会）が行われるなど、有意義な研修会となりました。



防災対策官よりの講義

## 青森ブロック

平成18年11月13日（月） アラスカ会館  
東北地方整備局側：青森河川国道事務所長他24名  
防災エキスパート側：26名



青森ブロック会場

## 秋田ブロック

平成18年11月16日（木） 大町ビル  
東北地方整備局側：秋田河川国道事務所長他32名  
防災エキスパート側：55名



秋田ブロック会場



ブロック別会場

## 岩手ブロック

平成18年11月14日（火） サンセール盛岡  
東北地方整備局側：岩手河川国道事務所長他31名  
防災エキスパート側：60名



岩手ブロック会場



八幡平山系火山砂防現地見学

## 山形ブロック

平成18年11月28日（火） パレスグランデール山形  
東北地方整備局側：山形河川国道事務所長他29名  
防災エキスパート側：57名



山形ブロック会場

## 宮城ブロック

平成18年10月31日（火） ハーネル仙台  
東北地方整備局側：北上川下流河川事務所長他9名  
防災エキスパート側：185名



宮城ブロック会場



河川情報センター岡山理事の講演

## 福島ブロック

平成18年11月6日（月） 郡山ビューホテルアネックス  
東北地方整備局側：福島河川国道事務所長他12名  
防災エキスパート側：52名



福島ブロック会場

## 編集後記

平成18年12月1日付で東北地方防災エキスパート事務局を担当することになりました。刀禰前防災調査部長同様よろしくお願ひいたします。

近い将来高い確率でおきるとされる宮城県沖地震、地域の防災力の向上の基本は、地域の連携による自助・共助と日々の訓練であるといわれています。

私自身、平成15年の宮城県北部地震に遭遇し、その後、毎年地域での防災訓練を実施していますが、平成16年・平成17年・平成18年と年々参加人数が少くなり、又、各家庭の被害の有無等を表す表示等の決まり事が守られなくなってきて、皆さんの記憶から薄れていっているような気がします。

「災害は忘れた頃にやってくる」の諺を忘れずにいたいものです。

(大嶋記)